中野サンプラザ周辺の

再開発を問う

て検討する。②検討委員会を

区民から寄せられる声は業務

現しない同計画の存在意義は

災害に関する連携が広がって

制の関係で同等の容積率の建

建て替えをした場合、日影規 幅によりマンションや個別の

物を建てられない状況がある。

近年、宗教法人と自治体の

なスポーツイベントの開催を

計画では多目的ホールで大き 状にどう対応するのか。②同

る条件を付すことも検討する。 辺のイベント情報等を掲載す 能性の検討に加え、中野駅周 ③広告事業者による設置の可 り、計画に沿ったものである。 の興行が開催できる仕様であ 説明していく。②様々な分野

地域の方のためにも、速やか

り、先が見えない状況である。 続立体交差事業と関連してお

に都と協議し、事業期間がい

備は、中井駅〜野方駅間の連

①区画街路第4号線街路整

を行う予定である。また、

かつひこ

目指していたが、最終的には

区内の神社と災害協定を

締結し防災力を向上せよ

号線沿道の地権者が、道路拡

5歳児健診を実施せよ

すべきでは。②区画街路第4

つまで延伸になるか明確に示

不可能となった。必ずしも実

混乱が広がっている。この現

万針が区民に明確に伝わらず ースに議論したいとする区の ではなく再整備事業計画をベ 発を見直す上で、ゼロベース

①頓挫したサンプラザ再開

区 長 ①より一層丁寧に

たくま

区画街路第4号線の

現状と課題について問う

# 英語教育日本一を目指せ

たくや

中野区の生徒の英語力が高い 結果であった。教育ビジョン 種多様な価値観や考え方への 「外国の言葉や文化など多 文科省の英語教育調査では、

教育の保幼小中一貫した取り 組みを進めては。③文科省の 設置しては。②区独自の英語 す必要があり、全日ALTを きた英語に触れる機会を増や は重要である。①それには生 できる人材を育成すること」 理解を深め、国際社会で活躍 教育長 ①全日配置につい 語特区の指定を検討しては。

立ち上げ、検討を進めていく。 話の問い合わせがあるが、デ 総合コールセンターを導入し フスタイルに向き合えるよう、 区民一人ひとりの多様なライ センターにより対応している。 時まで年中無休で総合コール 365日区民の問い合わせに 度等の活用を検討していく。 ③文科省の教育課程特例校制 ータベース化されていない。 ては。②1日5000件、電 ①藤沢市では、8時から21

体化を図っていきたい。

的なバリアフリー化を進めて 路の将来の姿を共有し、部分 バリアフリー化の必要性、地 連携して事業を進めては。 元の切実な思いを届け、密に は。②区長自らJRに出向き ①JRと駅舎・南北自由

業者への要請も行いたい。

な資産である。区民ニーズの い。②データベース構築の具 データベース化を進めては。 改善や政策立案に繋がる貴重 区 長 ①体制を整備した

## バリアフリー化について問う 東中野駅東口

に併せて設置するなど、増設

域または住民の日常生活圏域

③図書館不足地域におけるサ

に検討するべきではないか。 の多様化学校の設置を具体的 やすためにも、学校型の学び

て、区有施設整備計画の中で ービスポイントの設置につい

協議したい。②区長として事 長 ①段階的な整備を

ついて、子どもの日常生活圏 区有施設整備計画を問う ①フリーステップルームに







推進する予定である。 要な支援を検討する。③サー 多様化学校による学習など必 場」として位置づけ、学びの 区基本計画に「学びを支える ビスポイントの機能について 本計画の中で位置づけ事業を は現在検討中であり、次期基 ても検討する。 ②今後、中野

②重層的な学びの選択肢を増

を検討するべきではないか。

## 区民生活を守るための

生徒の人数が増加している。 ルームは、通室している児童 なかのにあるフリーステップ 位置づけるべきではないか。 教育長 ①みらいステップ 他地域での設置につい

> 対応を最大限に行い、また、 無届営業への対応について、 ついて一定期間をもって改善

指導や罰則規定を設けるなど 国に対して一定の規制強化を 条例の範囲の中で区ができる るべきではないか。②無許可 が見られない場合を明文化す

進めていきたい。②無許可・ 求めるべきではないか。 いる。また、国に対する要望 旅館業法等に基づき指導して 無届の宿泊営業については、 効果的な対応について検討を 自治体の状況を注視しながら る。国や都の政策動向や、 ずることは難しいと考えてい 苦情内容は多様であり、直ち に許可の取り消しや停止を命 区 長 ①各施設における

他

置である。

利用実態に応じた

ッズ・プラザは1名のみの配 援指導員の加配があるが、キ は。③学童クラブには特別支

計画かつ着実に既存校舎を改

て一定の考え方や基準を設け

修すべきと考えるが見解は。

教育長

①世田谷区を視察

し、聞き取りを行った。慎重

に検討を行っていく必要があ

④教育環境格差の是正に向け

適切な配置を検討しては。

対象として、苦情への対応に しくは一部の停止を命ずるこ とができる。」とある。その の対象児に対して健診を行っ 可の取り消し、業務の全部若 では第6条第7項に「当該許

①民泊について、区の条例

ている例もある。すべての対

の対象児に対して、5歳児健 課題を含めた様々な対応策に 明けには、地域の方を対象に を把握するためには、すべて ついて、検討を進めていく。 するとともに、日影規制等の ②生活相談窓口の活用を促進 説明会の開催を予定している。 ①発達に課題のある子ども 施する場合、実施体制の確保 対象児を絞り、集団健診を実 ている。②アンケートにより 健診を実施する形態を検討し 福祉センターにおいて、集団 子どもに対して、各すこやか り発達の確認が必要とされた 診を実施してはどうか。 して発達課題に関するアンケ トを実施し、その結果によ ①対象児全員に対

については、他自治体とも連 携しながら検討していく。

象児に対して健診を行う前に モデル事業として、5歳児健

どの程度まで減らす目標か。 定額と対象人数は。②利用者 の周知方法は。③失効額を ①ナカペイの12月末失効予

令和8年度に試行的に5歳児 様々な課題が想定されるため、 や健診後のフォロー体制等、 対応策を検討 プッシュ通知やメール送付を 行う。③可能な限り失効ポイ 00人である。②アプリでの 6000万ポイント、約80 ントが発生しないよう努める。 ①政策助成は今年度の申請 区 長 ①8月末時点で約

# 区民活動への助成の増額を

ラブ活動を地域分散し、活動 健康寿命延伸のため、老人ク 総額2000万円と同規模と し、活動を活性化しては。 2

健診を実施し、

していく。

ナカペイの年末失効額を

最小化せよ ひろゆ

回数分の助成を増額しては。 る。②運営を踏まえ検討する。 ①適切に予算化す

### 小学校を円滑に接続せよ 幼稚園、保育園と

直した。①中野区で小学校へ 現場の負担を軽減しては。 オーマットを作成し、小学校 の接続加算要件を全て満たし ける小学校接続加算要件を見 小の架け橋プログラム」にお た割合は。 国は令和6年度から「幼保 ②教育委員会がフ

検討していく。

## 児童が安 教育等環境の整備を 製造 心して過ごせる



で考え方を示していく。 委員会に要望を伝えていく。 更なる充実に向け東京都教育 学年の拡充やエデュケーショ 定する小中学校施設整備計画 し、検討していく。④今後改 ン・アシスタントの増員など、 区 長 ③利用実態を把握

要望する他、配置を増員して

クラスへ配置できるよう都に

アシスタントを必要な学年・

援学級(固定級)の設置検討

①自閉症

情緒障害特別支

ると考えている。②支援対象

状況は。②エデュケーション

## 保育と療育の連携を

討してはどうか。 連携させた施設の在り方を検 園と児童発達支援センターを 他区の事例に倣い、区立保育 保育園移転の考えも示された。 の療育センターの設置や野方 施設の設置が示され、3つ目 平和の森小学校跡地に複合

討していきたい。 他自治体の事例も踏まえ、検 発達支援センターが連携した インクルーシブ保育について、 区 長 区立保育園と児童

# 幼稚園保護者の負担軽減策を

や近隣区の状況などを踏まえ た4園も対象にすべきでは。 回った分への補填となる保護 区 長 保護者負担の現状 補助金を、新制度に移行し 新入園の入園料6万円を上

①86園中7園で、

、キュラム例を提示する。 教育長 ②申請に必要なカ

割合は8・1%である。

(3)

令和7年(2025年) 11月24日

報を流せば、中野区のブラン 告や四季の都市のイベント情

結を進めていく。

を進めており、延伸時期は、

区 長 ①現在、都と協議 は、どのように対応するか

る。すべての対象児に対して

診を実施することが大切であ

令和7年第4回定例会で報告

るか。②他自治体では、一部 ような健診の形態を考えてい 健診を行う場合、区は、どの

内容を検討し、災害協定の締

実効性のある連携

ド力向上につながるのでは。

置し、区内のアニメ会社の広

る。デジタルサイネージを設 館したからこそ実現可能であ ③サンプラザ壁面の活用は閉

と災害協定を締結しては。 いる。東京都神社庁中野支部